

新・計画検討にあたっての論点

旧・計画の枠組み		新・計画にて強化・留意する論点
項目	方向性	
<将来像> 長期滞在型の世界の保養地 -心と体を回復させる 現代の湯治場「熱海」-		<将来像>
I 温泉中心主義 -湯治場「熱海」の復権-		◆ マーケティング機能の強化 ◆ 熱海市全体でのデータ整備 ◆ 観光まちづくり（リノベーションまちづくり・創業支援など） ◆ インバウンド施策の強化 ◆ 回遊性向上施策の強化 ◆ 観光地経営のための推進体制「熱海型 DMO」構築 ◆ 観光振興条例の必要性 ◆ 観光財源のあり方 ◆ 宿泊産業等生産性向上に向けた体制整備、支援強化
1 温泉資源の見直し・活用	キラーコンテンツの魅力アップ	
II もう一度行きたくなる街 -満足度アップの仕組みづくり-		
1 連泊の推進	プログラム開発	
2 満足度向上施策の推進	おもてなし、マーケティング	
3 食による地域ブランドづくり	プロモーション	
4 広域連携の推進		
5 観光イベントの充実		
6 コンベンションシティ構想の推進	インバウンド	
7 インバウンドの推進		
III 歩いて楽しい温泉保養地 -経済効果の各業界への拡大-		
1 景観の整備	景観形成	
2 歩いて楽しいルートの設定	回遊性向上	
3 歩いて楽しいルートの整備		
IV 全員参加のまちおこし		
1 推進体制の整備	推進体制整備	
2 市民全員が観光ガイド	人材育成	
3 地域・観光教育の推進		